

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援（MPM）

2023年度採択事業者 成果報告書

2025年3月31日

株式会社ケイエスピー

(1) 事業目的



課題

- ①大学発スタートアップの事業開発上の課題:製品開発～社会実装の間に、顧客との技術実証フェーズが必須となるため、経営人材には周辺まで含めた技術の専門性や、メーカーでの製品開発、量産の経験が必要
- ②経営人材に求められる能力と経験の多様さ:a.活動性・機敏性 b.専門性、経験値 c.成熟したコミュニケーションなど、経営人材に必要な能力は多岐に渡り、一人で全てを網羅できる人材は稀有
- ③マッチングの成功パターンが複雑:事業が頓挫する研究者のタイプは明確に存在するが、研究者と経営人材のマッチングにおいて成功パターンは多様であり、最適なマッチングは難しい
- ④副業人材ならではの制約:勤務先との関係で様々な制約条件（稼働日数、報酬、スタートアップの知識・経験の不足）があり、スタートアップ経営人材の即戦力としては活用が難しい

MPM以前の取組

- ・ 既存事業（ビジネススクール、ビジネスマッチング）での人材ネットワークを活用した即戦力経営人材の探索
- ・ 人材紹介会社を経由した経営人材の紹介と個別マッチング
- ・ 知識習得を主としたビジネススクールを通じた経営人材の育成

MPMで目指す姿

- ・ 大手メーカーとの豊富なネットワークによる転職可能性のある副業経営人材獲得
- ・ 初期スタートアップ起業検討において必要な経営機能を個人ではなくチームで実現
- ・ 研究者毎に経営人材を個別に斡旋するのではなくN:Nの集団お見合い形式でマッチング機会を最大化
- ・ 中長期の育成に必要な継続的な実践プロジェクトの提供

(2) 事業概要



実施項目	取組概要
①経営人材の発掘・育成	当社の既存ネットワークを活用したDM及びウェブサイトによるPR (問合せ・面談数200名 > 会員登録数150名 > 事業化検討プロジェクト参加者80名)
②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出	- 経営人材、研究者データベース構築、運営 - 経営人材交流会・研究者ピッチイベントの実施 (1/12、1/19、9/5) - プレセミナー (PJ体験談) の実施 (7/22、8/2) - 第1期 事業化検討プロジェクト実施 (2024年4月～6月) - 第2期 事業化検討プロジェクト実施 (2024年11月～2025年1月) - PJ中間報告会実施 (第1期 2024年5/19、20 第2期 12/9) - PJ最終報告会 (第1期2024年6/29 第2期 2025年2/6) - 各PJ別slackチャネルの運営
③経営人材として経営参画するための環境整備	- 第1期PJ活動継続 (2024年7月～9月、2 PJ) - 第2期PJ活動継続 (2025年2月、8 PJ) - GAPファンドへの申請 (第1期 6件、第2期 7件) - NEDO NEPへの申請 (第2期 1件) - 大学EIRへの採用 (東京科学大、信州大、埼玉大)
④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加	- 第1期 事業化検討プロジェクトアンケート (終了時) - 第2期 事業化検討プロジェクトアンケート (開始時、終了時) - 経営人材の評価 - 横浜国立大学 経営学部によるアンケート解析

KPI	目標値 (人/件数)	実績値 (人/件数)	備考
マッチング創出数			
イベントや個別紹介等の「出会い」に参加した経営人材の数	80人	118人	経営チームと研究者との出会いに参加した経営人材の人数
「出会い」を経て、具体的な伴走支援等の「関係構築」に進んだ経営人材の数	30人	83人 (24PJ)	事業化検討プロジェクトに進む経営人材の人数 括弧はプロジェクト数
「関係構築」を経て、スタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至った経営人材の数	6人	9人	取締役(予定を含む)ポジションで参画する経営人材の人数
大学等の技術シーズを起点に、設立に至った大学発スタートアップの数	2社	2社	経営チームによる事業化検討を経て、会社設立準備に至った件数
大学発スタートアップ支援数			
経営人材が関与することとなる大学発スタートアップの数	3社	3社	設立済みスタートアップへの参画1件、起業前からの参画2件